



越前町
ECHIZEN

2011. 2 . 1
vol.23

議会だより



おもな内容

- ☆ 12月定例会報告 2
- ☆ 決算特別委員会報告 3
- ☆ 一般質問 4
- ☆ 議会活動 8

平成23年成人式

— 越前陶芸村文化交流会館 —

発行・越前町議会 発行責任者・議長 吉村春男 編集・議会広報特別委員会
〒916-0192 福井県丹生郡越前町西田中13-5-1
TEL (0778) 34-1234 (代)

十二月定例会報告

招集 12月15日
会期 3日間
(15日～17日)

議案審議結果

次の議案等を審議した結果、いずれも原案どおり可決、認定しました。

- ①議案…17件
- ②陳情…1件
- ③意見書…1件

①議案(抜粋)

●越前町住民基本台帳カードの利用に関する条例の制定について

「たんなんカード」利用自動交付機が「住民基本台帳カード(住基ICカード)」対応型自動交付機に更新されるため、期限付きでカード発行手数料、証明書発行手数料を引き下げ、住基ICカードの普及を図るものです。

●平成22年度越前町一般会計補正予算(第9号)

(補正額)
7億7,508万7千円
(予算総額)
136億1,187万7千円

歳出の主なもの

◎民生費

○重度障害者(児)医療費・障害者福祉サービス費・子ども医療費
○AEDを町内の保育所・児童館・子育て支援センターに設置(19箇所)

◎農林水産業費

○中山間地域等直接支払制度補助金(35集落)
○越前漁港広域整備事業負担金

◎土木費

○町道改良工事費(気比庄中学校線他1路線)
○町道舗装修繕工事費

(朝日佐々生線他1路線)

◎公債費

○町債繰上償還元金・利子

●平成22年度越前町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
(補正額)
3,591万5千円
(予算総額)
21億3,111万2千円

療養諸費・高額療養費

●平成22年度越前町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
(補正額)
△26万3千円
(予算総額)
20億5,931万円

(予算総額)
20億5,931万円

●平成22年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
(補正額)
3,762万3千円
(予算総額)
6億1,884万7千円

(予算総額)
6億1,884万7千円

簡易水道統合整備工事費

●平成22年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
(補正額)
△4,100万5千円
(予算総額)
9億5,031万6千円

(予算総額)
9億5,031万6千円

●平成22年度越前町集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
(補正額)
△8万円
(予算総額)
4億2,109万3千円

(予算総額)
4億2,109万3千円

●平成22年度越前町温泉事業特別会計補正予算(第1号)
(補正額)
114万2千円
(予算総額)
1,792万6千円

(予算総額)
1,792万6千円

●平成22年度越前町水道事業会計補正予算(第2号)
(補正額)
3,762万3千円
(予算総額)
6億1,884万7千円

(収益的収入・支出総額)
2億6,497万4千円

●平成22年度越前町国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第1号)
(収益的収入・支出総額)
10億3,582万2千円

(収益的収入・支出総額)
10億3,582万2千円

●越前町過疎地域自立促進計画を定めることについて
平成22年4月1日から平成28年3月31日までの6箇年を計画期間とする「越前町過疎地域自立促進計画」を定めるものです。

●越前町過疎地域自立促進計画を定めることについて
平成22年4月1日から平成28年3月31日までの6箇年を計画期間とする「越前町過疎地域自立促進計画」を定めるものです。

●越前町過疎地域自立促進計画を定めることについて
平成22年4月1日から平成28年3月31日までの6箇年を計画期間とする「越前町過疎地域自立促進計画」を定めるものです。

●越前町過疎地域自立促進計画を定めることについて
平成22年4月1日から平成28年3月31日までの6箇年を計画期間とする「越前町過疎地域自立促進計画」を定めるものです。

●大字及び字の地域の変更について
織田西山地区において実施された土地改良事業に伴い、土地の区画及び形質に変更が生じたので、大字及び字の区域の変更をするものです。

●公の施設の指定管理者の指定について(悠久ロマンの杜)
悠久ロマンの杜を指定管理者に管理を行わせるものです。

●公の施設の指定管理者の指定について(悠久ロマンの杜)
悠久ロマンの杜を指定管理者に管理を行わせるものです。

株式会社 技研サービス
代表取締役 関谷裕久
平成23年4月1日から平成28年3月31日まで

●平成21年度越前町各会計歳入歳出決算認定について
採決の結果、全員賛成で可決しました。(決算特別委員会報告は、3Pに掲載しています)

●平成21年度越前町各会計歳入歳出決算認定について
採決の結果、全員賛成で可決しました。(決算特別委員会報告は、3Pに掲載しています)

●平成21年度越前町各会計歳入歳出決算認定について
採決の結果、全員賛成で可決しました。(決算特別委員会報告は、3Pに掲載しています)

●平成21年度越前町各会計歳入歳出決算認定について
採決の結果、全員賛成で可決しました。(決算特別委員会報告は、3Pに掲載しています)

②陳情

●TPP交渉参加反対に関する緊急陳情は、産業土木常任委員会に付託され審議した結果、賛成者多数で採択しました。

③意見書

●TPP交渉参加(反対)に関する意見書の発議を可決、当議会は関係行政庁等に対し、意見書を提出しました。

決算特別委員会報告

委員長 上坂 昭夫

平成21年度越前町各会計の決算について審査するため、11月4・5・8・9日の4日間にわたり決算特別委員会を開催し、慎重に審査しました。
主な内容を報告します。

一般会計

【総務部門】

要望

実質公債費比率などは、着実に改善され財政健全化への努力がみられるが、今後とも将来を見据えた計画のもと、更なる財政健全化に努めてもらいたい。

答

これまでも繰上償還、借換債、歳出削減など、財政健全化に努めてきています。今後、も将来的なシミュレーションに基づき、鋭意努力していきます。

問

町税滞納額を不納欠損処理しているが、その理由は。

答

会社の破産や解散、5年以上の所在不明者、出国した外国人を対象に不納欠損処理を実施しました。

【民生部門】

問

敬老会の参加率が35%程と低いのはどうしてか。

答

対象者が77歳以上の高齢者であり、健康面や家庭の事情などで参加出来ない人も多い。ひとりでも多くの人に参加していただけるように努めていきます。

問

はぎの子育て支援センターと越前子育て支援センターでは利用者数に大きな差があるにも関わらず、補助金と同額なのはなぜか。

答

保育士の人件費に對して交付するもので、利用者数は勘案されません。今後とも広くPR活動を行い、利用促進を図っていきます。

【建設部門】

要望

除雪作業に関し、住民に対しての周知徹底を図ること、通学路の除雪を最優先に実施していただきたい。

答

12月の区長会や委託業者を含めた除雪会議において、周知を図っていきます。

【教育部門】

問

教育相談はどういうことを行っているのか。

答

学校へ行けないままは学校へ行っても保健室にしか行けない児童・生徒の勉強相談が多く、時には家庭訪問を行い心のケアも行っています。

問

小・中学校のAEDの設置場所はど

こか。時間外利用者を鑑み、体育館に設置しないのか。

答

学校によって異なるが、保健室や職員室前の廊下などに設置しています。あくまでも児童・生徒のために設置しているの、体育館には設置してありません。

問

各地区で実施している文化祭を、一本化して4地区の持ちまわりで毎年開催できないか。

答

現時点では一本化での実施は難しいが、将来的には必要になってくると思うので、文化祭実行委員会などで検討していきたいと思っています。

国民健康保険事業特別会計

問

国民健康保険税の不納欠損処理人数は。

答

死亡・不明者が9人、破産・差押えが8人、外国人3人の合計20人分を実施しています。

意見

公平性の観点から徴収に努め、不納欠損が出ないようにしていただきたい。

集落排水事業特別会計

問

排水処理を熱処理等により、地域へ還元する考えはないか。

答

熱処理は多額の経費が掛かるため、規模や費用的に難しいと思います。

農林漁業体験学習館事業特別会計

問

入浴受付が午後7時までとなっているが、時間延長できないか。

答

利用者のニーズ等も考慮して、今後検討していきたいと思っています。

国民健康保険病院事業会計

問

1日ドッグの受診者が少ない原因はなにか。

答

医師の関係でマンモグラフィティー検査が月曜日に限られる

ことや医師数等の関係から、現状では受診者を増やすことは困難です。

問

ジェネリック医薬品の使用状況は。

答

医師の中には、先発品と全く同じ薬でないのに副作用を懸念する声もあります。国も推奨しているので徐々に増やしていきたいと思っています。

問

外来の内科患者数が低いのはなぜか。

答

従来は2週間までであった薬の投与が、最大3ヶ月間まで可能となったことが減少の要因です。

決算特別委員会では、4日間にわたる執行部からの説明と委員の質疑を行い、採決の結果、平成21年度越前町各会計歳入歳出決算認定については、いずれも原案どおり全員賛成で認定しました。

12月定例会

一般質問

森林保全と 水源涵養への対応は



山本 清道

問

荒廃する森林を、
県民全体で保護し
ようという動きが全国的
に始まっている。

森林の整備や保全に充
てるため30の県で、県民
税に上乗せして課税する
「森林環境税」を導入し、
森林整備事業を行って
いる。

私は、行政・企業・住民
が協力・連携し合いなが
ら、森林の保護や植林、涵
養を行い、後世に伝えて
いくべきであると思うが、
次の点について町長の考
えを伺いたい。
①森林の果たす役割をど
う認識しているのか。
②どのような方法で本町

の生活用水は確保されて
いるのか。今後とも供給量
や水質に不安はないか。
また、水道料金の改定を
どう考えているか。
③行政と企業がタイアッ
プした森林づくりについ
て、本町の実態と今後の
対応をどう考えていくの
か。
④水資源涵養機能が発揮
出来るように、どのよう
な施策を講じていくのか。
⑤過去5年間で鳥獣害対
策に要した費用はどれく
らいか。

答

①町長

森林の果たす役割
は、水を育み洪水を防ぐ
水源涵養の機能や、国土
保全をする機能、地球温
暖化防止作用、自然界の
生態系を守る役割、憩い
の場を提供する健康増進
などの多面的な機能があ

ると認識しています。

答

②町長

本町の生活用水は、
河川水15カ所や地下水12
カ所、湧水1カ所、ダム
水1カ所、日野川からの
県水受水で確保していま
す。
今のところ、水の供給
量や水質に関しては問題
ありません。

現在は、非常に厳しい
経済状況下であり、水道
料金の値上げは出来る限
り避けたいと考えていま
す。

しかし、収支の見通し
によつては将来お願いす
ることになるかもしれま
せん。慎重に判断しなが
ら、効率よく運営してま
いります。

答

③町長

現在、株式会社平
和堂と「平和堂越前町泰
澄の森整備管理協定」を
結んでいます。

協定締結の際、町有地
0.79haに桜の木を60
本植樹していただき、社

員や家族の方に、年に1
回下刈りや補植、施肥の
保育管理を行っていただ
いています。

また、株式会社福井村
田製作所から「是非越前
町で企業の森をつくり
たい」という要望をいた
だいていますので、今後、
前向きに受け入れていき
たいと考えています。

答

④町長

水源涵養の施策と
しては、1万1,367
haある越前町の森林面積
の内、1,349haある
広葉樹林を水源涵養保安
林として指定しています。

現在、人口林は6,
048haありますが、こ
の中の若い樹木を対象に
保育管理事業を行ってい
ます。下刈りや間伐、枝
打ちに対して、年間5,
860万円の補助金を出
しています。

また、枯れた松の木の
抜倒事業等に300万の
補助金を出し、抜倒した
後に平成20年から毎年、
ヤマボウシなどの広葉樹

を植えて、森林涵養対策
を行っています。

答

⑤町長

鳥獣害対策に要
した金額は5年間で、7,
660万円です。

内訳は、平成17年が2,
938万4,000円、18
年度は2,166万1,0
00円、19年度は999
万6,000円、20年度は
744万8,000円、21
年度は811万1,000
円の補助金を出していま
す。

その結果、電気柵を総
延長で30万1,402
m整備、イノシシの捕獲
檻を16基購入し、イノシ
シを702頭捕獲しまし
た。

本年度より、捕獲した
イノシシや鹿の処分に要
した費用の内、2分の1
相当額を補助金として区
へ出しています。



越前町文化協議会の 活動状況は



橋本 守行

問

越前町文化協議会では、生涯学習の一環として、どのような講座を開講し、出席者はどれくらいか。

また、活動状況や活動拠点、会員になるための要件について伺いたい。

答

教育長

各分館の平成21年度の実績を見ますと、全体で延べ3,166人の方が受講されています。地区別では、朝日地区が、パソコン教室や手芸講座、子育て講座、料理教室、教養講座を開講し、延べ776人の方が受講されており、宮崎地区は、筆ペン講座、園芸講座、I

T講座、手芸講座などに延べ354人の方が受講、越前地区は、パソコン講座、手芸教室、着つけ教室などに延べ1,411人の方が受講、織田地区は、パソコン講座、手芸講座、筆ペン講座などに延べ625人の方が受講されています。

また、平成22年度の加盟団体数は、154団体で会員数が1,397人です。生涯学習センター及び各分館を拠点に活動されています。会員になるための要件は、越前町在住の方で、文化協議会の趣旨に賛同いただき、年会費500円を納入いただくことです。

問

文化・芸術活動の拠点施設である生涯学習センター及び各分館の運用形態について伺いたい。

答

教育長

越前町生涯学習センター条例及び施行規則に基づいて運用しています。ただし、越前町文化協議会の加盟団体や、越前町体育協会、町・教育委員会が主催して行う行事、町内の学校や保育園等が教育活動などで利用する場合には、減免基準に基づき使用料の免除を行っています。

問

各地区特有の文化や芸能の振興策について伺いたい。

答

教育長

朝日地区では、幸若の会やマリンバ演奏団体、天寶願人坊踊保存会が、宮崎地区では八田獅子舞保存会や榎津獅子舞保存会、布須麻廼宮雅楽保存会、越前陶芸太鼓保存会、やしき保存会が、越前地区では高佐子供会獅子舞が、織田地区では明神ばやし保存会、O T A I K O 座明神、ち

びっこ明神たいこなど、歴史や伝統、地区の特色を生かした文化活動が熱心に展開されています。

町では、これらの活動団体への直接的な助成や、文化協議会及び社会教育団体に対する間接的な助成、各種コンサート開催時の助成を行なっています。

天王川改修事業の 進捗状況は

問

天王川改修工事は、平成15年度から8年間で総事業費が40億円と聞いているが、この8年間の実績は、11億2,500万円で進捗率が28%程度である。

先日の丹南土木事務所の説明会でも、後30年もかかるとのことでは、町民は安心して眠れない。県や国に対して、議会と町で強く要望していきたいと思うが町長の考えを伺いたい。

答

町長

天王川の改修が、大変遅いという議員のご指摘ですが、もったいなく話だと思っています。

昭和60年から平成10年までの13年間で、総事業費約30億円をかけて第1期工事が行われ、日野川の合流点から市姫橋までの延長3,350mの引堤工事と張りブロックの工事を行っています。

第2期工事は、15年から24年までで、総事業費が38億5,000万円で、本年度の事業費を入れると32.1%の進捗率です。

市姫橋と付近の護岸工事は完了し、徳万橋の左岸、天寶・宝泉寺地係の引堤工事490mも、今月末で完了予定です。また、徳万橋下流の右岸、150mの護岸工事も、来年6月に完了する予定です。

県では23年度で、右岸の護岸工事に引き続き、市姫橋から天神橋までの土地の取得と、徳万橋上流の浚渫工事を考えてお

り、2億5,000万程度の予算要求を行っています。ですが、どの程度の予算がつくか見通しはたっていない。土地の取得が完了すると同時に、天神橋までの工事を着工するということです。

今の予定で、工期内に進捗率40%位が完了すると思います。残りについては、県が今、25年度以降10年間の事業計画の見直しを立てていますので、せめて25年度から5年程度で事業を完了させて欲しいということを、強力に要請していきたいと思っています。

今年の11月6日に、民主党の地域戦略局へ、26日には知事、部長への要望活動を行っています。議員の皆様のお力もお借りして、もう少し工事の進捗が進むよう、国や県に強力に働きかけていきたいと考えていますので、よろしく願います。

文化財の保護と
観光客の誘致を

笠原 秀 樹

問

越前町には、戦国武将織田一族発祥

の地越前二の宮劔神社、山岳信仰の祖である泰澄大師ゆかりの越知山、日本六古窯のひとつ越前焼など、豊富な文化的資源がある。特に、劔神社の梵鐘は、日本で三番目に古い国宝である。

本町には国や県、町指定文化財が全部で百件以上もあり、県内でも有数の文化財の宝庫と言っても過言ではない。

しかし、「町民意識調査」の結果では、「歴史や文化」が越前町の魅力としてどのように映っている

誘致にも繋がると思うが町長の所見を伺いたい。

答 町長

「町民意識調査」で本町の魅力を語るものとして、文化財や歴史的遺産を挙げた人の割合を表した18・4%という数値を、私は妥当な数値だと思います。

町長は、この結果を町民の文化財に対する意識は高いと考えますか。それとも低いと考えますか。私は、これらの貴重な文化財をいつまでも保護し伝承していく事が大事であり、町民への啓発や情報発信も行っていくべきであると思う。

越前町の文化財保護では、地域住民が文化財を守るために整備を行った場合に、4分の1の補助があるが、これを今後見直す考えはないか。

また、これらの貴重な文化財は大きな観光の目玉にもなり得る。積極的にPRを行い、豊かな自然環境や地域資源と連携させることで、観光客の

会での講演活動なども非常に活発に行っています。

この様に、町では多くの文化財や歴史的遺産もあり学術的な調査も行われ、その結果について情報発信もしています。それに関心を持った町民の皆さんもたくさんいらっしゃるので、文化的な意識が非常に高いのではないかと思います。

次に、文化財を守るために整備を行う場合の町の補助金については、国庫補助金や県費補助金を除いた残りの4分の1の補助金を出すということが基準となっていますので、これはそのまま据え置きたいと思っています。

また、文化財や歴史的遺産を観光資源として活用することについてですが、議員のご指摘は尤もな意見だと思いますが、これらを観光資源に活用する事が非常に難しいというのが現状です。

優れた文化財があつて

も、ただ見てもらうだけでは、なかなか魅力が伝わらないものです。ここに語り部の方の説明があれば、更に歴史ロマンを膨らませていくこともできます。

例えば、越知山へのハイキングコース周辺には、多くの見どころがあります。ハイキング客と同行し、周辺の史跡を案内する語り部の方がいれば、見どころをはずさず巡ることができます。そして山頂まで登って、悠久ロマンの杜で昼食を取り、午後から宮崎地区の越前陶芸村へ行き、陶芸の体験をする。



八坂神社

その後、越前地区に行き、地元の新鮮な食材を食べて疲れた体を癒すというような観光コースの商品開発をすれば、ヒットするんじゃないかと常々思っています。なかなか具体的に進んでいけないのが現状です。

私は、そういうことが

要望

旅行ガイドや文化財の探訪マップを、県内の道の駅等に置いて、少しでも観光客の方が見れる体制をとっていただくのもいいことかなと思いますので、今後の行政に対する要望とします。

町の施策を問う



北野 正勝

11月3日、本町出身の前最高裁判事・泉徳治氏が旭日大綬章を受章されました。郷土の名誉と次の世代の若者たちに大きな励みになると信じお祝いを申し上げます。

また、福井県知事・西川一誠氏も3期目の出馬表明をされ、地元として、応援し健闘をお祈りします。

地域資源を活用した振興ビジョン

問

越前町は、国定公園の越前海岸をはじめ、豊かな自然環境や、歴史、伝統文化も多く存在している。

答

町長

越前海岸に行くと、魚やカニを食べて、一杯飲んで帰るといふ旧来型の観光から脱却しなければ

いけないと考えています。

また、越前ガニを筆頭に多くの特産品を有し、町を挙げての観光イベントも数多く開催している。

しかし、本町の観光入込客数の半分を占める越前地区では、年々観光客数が減少し、現在はピーク時の半分の約60万人余りにまで落ち込んでいる。

町は、道路改良や温泉事業の開発、観光施設の整備などに取り組んできたが、景気の低迷等による利用者のニーズに正確に当たっていないというのが現状ではないか。

これらの解決策として、本町の基幹産業である観光事業を支援するために、どのような対策を立てているのか伺いたい。

本町は、ソフト部分のインフラ整備が全く出来ていませんので、地域資源を幾つか組み合わせ商品づくりが必要です。今年、国土交通省の中部観光まちづくりアドバイザリー会議の委員が本町を訪れました。これは、大手旅行代理店職員や大学教授を含む9人のアドバイザーが町内14カ所を廻り、施設の問題点や解決策についてアドバイスを行うものです。

その際、観光資源を活かした商品開発や有機的に連携させた観光地づくりが必要であるとの指摘を受けました。

まだはつきりとした越前町の観光ビジョンは出来ていませんが、今後の課題として、町外から申し込みがあった場合に、地域資源めぐりのメニューを揃えておき、越前町全体を案内する地域旅行代理店みたいなものをつくりたいと思っています。

ます。

あくまでも、私の私見です。

ですので、今後、観光関係の方に相談させて頂き、皆さんの知恵をお借りしながら、地域資源の再整備やソフト部分の整備を進め振興を図っていききたいと考えています。

ふるさと消費拡大事業の取り組み

問

景気の低迷により消費者に節約志向や低価格志向が生まれ、小売店の売り上げが前年度を下回っている。

越前町商工会では、県の指導と町の支援のもと、消費拡大と地域の活性化を狙って、「ふるさと商品券」の発行と「消費拡大イベント」を併せて実施した。

この事業の成果と今後の実施予定について伺いたい。

答

町長

プレミアム商品券は、昨年度と本年度の2

年連続で実施しました。

確かに消費拡大セール時には昨年の同時期に対し、5・1%の売上増と、プレミアム商品券の換金までの期間中は商品券発行額に対して1・25倍の新たな消費が喚起されたと報告を受けています。

しかし、今後もこの事業を町単独で恒例化すると、補助金の増額にも繋がり、町の財政事情を考慮して避けたいと思います。

今後は県や他の自治体の動向を見極め、町内関係者と相談しながら事業に取り組んでいきたいと考えています。

建設予定の織田コミュニティセンターの概要

問

行財政改革を行う時は、町民の理解を得たうえで、施設の統廃合等をすべきであると、過去に理事者に質した経緯がある。

旧織田町役場や公民館は、築40年余り経過し

老朽化も進み、施設を統合し新施設として再生する必要性は認識している。

織田地区の特性を活かした新施設の建設を期待するものであるが、建設予定地や予算、施設の概要と、政府が打ち出した『公共建築物木材利用促進法』について、どのような対応を計画しているか合わせて伺いたい。

答

町長

建設予定の織田コミュニティセンターは現在の場所に、建物面積564坪・鉄骨造り2階建てで考えています。

今年十月に、木造の促進に関する法律が出来ましたが、工事費を考慮し、基本的には鉄骨造りで事業費が約4億円です。

施設の機能は、窓口業務や生涯学習センター、織田分館で、教育支援室、保護活動支援室、相談室、和室、会議室、調理実習室、ギャラリー兼多目的ホールを備えた施設を計画しています。

常任委員会研修報告

総務常任委員会

10月25・26日 綾部市

集落支援の取り組みについて

総務常任委員会委員は、京都府綾部市老富地区への行政視察を行いました。

綾部市は、集落支援への取り組みを行っている先進地であり、平成18年に5年間の時限立法である「水源の里条例」を制定し、過疎・高齢化が進んでいる地域の振興や活性化を総合かつ計画的に推進しています。当日は、はじめに綾部市の木下議長からごあいさつをいただき、その後、綾部市水源の里振興課の課長並びに地元の方々から、条例制定されてから今日に至るまでの経緯について説明を受けました。また、地元の人達が「丸」となっている、とち餅の製造や販売にまつわることについて話を聞きました。その後は、お互いに活発な意見交換を行いました。

今後は、視察研修で得たものを越前町の発展に役立てていくよう努めてまいります。



綾部市「老富会館」

産業土木常任委員会

越前町をPR

11月29・30日
京都市・京都府和束町

産業土木常任委員会では、越前町の観光PR活動と特産品を生かしたまちづくりについて学ぶため和束町を視察しました。29日に京都タワー前で、「越前町にお越しください」と呼びかけ、歩行者200人に越前が、越前水仙、チラシを配り、観光PRを行いました。

和束町は、人口5千人余、京都府南部に位置し、特産品の「和束茶」とかまぼこをぎつしり並べたような茶畑景観を生かし観光産業の振興を行っている町です。

食材としてのお茶の販売や景観資産、茶摘み体験、茶園のオーナー制度などを活用し、新たなお茶の魅力による6次産業化に取

り組んでいます。産業振興を担う住民グループが組織され活動するなど、徐々に茶産業を中心とした町づくりや雇用の創出が図られてきたとの説明を受けました。

今後



来町を呼びかける議員（京都タワー前）

文教厚生常任委員会

環境施策について

10月19・20日
大垣市・岐阜県輪之内町

10月19日と20日に、子育て支援と環境施策についての行政視察を行いました。

大垣市子育て交流プラザは、「子ども子育て家庭を、社会全体で温かく見守ろう」という市民による子育て支援の拠点施設です。NPOが運営しており、土日・祝日も開館し、利用者も毎年1万人を超える施設でした。土日のスタッフには、家族の方が入る等、地域ぐるみでの子育て支援体制が構築されていました。

輪之内町エコドームは、資源ごみ回収の拠点施設として平成14年10月にオープンした資源回収場。随時搬入を受け入れていま

輪之内町は、12年にISO14001の認証を岐阜県下で初めて取得し、さらに16年には生ごみハウスを建設し、生ごみの堆肥化も進めるなど先進的な取り組みを行っています。

今回の視察研修で知り得たことは、今後の越前町の発展のために寄与していくと思います。



輪之内町エコドーム

編集後記

新年あけましておめでとうございます。大雪で厳しい天候が予想されていましたが、今年の干支の兎のように穏やかな正月となりました。

しかし、国の政治、経済等は厳しい情勢が続いています。特に大学生の就職内定率が70%割れの状況は、この国の将来に大きな不安がよぎります。議会も様々な活動を通して住みよい町づくりに貢献してまいります。

「議会だより」を充実して、町民の皆様にお届けいたしたく、広報委員一同、精進してまいりますので、皆様のご意見をお寄せください。（内藤）

議会広報特別委員会

委員長 安井 賢二
副委員長 黒田 文男
委員 上杉 力
鈴木 文夫
北島 忠幸
村上 義人
島田 欽一
内藤 俊三